

## ▶ 今号の内容 ◀

□社会主義の大道めざす  
女性労働者の隊列を！  
…4~5面

□3.28三里塚全国結集へ  
…3面

《寄稿》平和台病院闘争  
に有罪判決 …8面

1982年  
2月25日  
第9号  
(通巻57号)  
8頁 250円

## 赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行所 赤路社

編集・発行人 北沢晋  
東京都大田区大森北1-13-11  
電話 03(766)4729  
郵便振替 東京7-86947

関西赤路社 大阪市福島区大門  
1-19-13副島ビル  
電話 06(462)7030

毎月10日、25日発行  
1980年2月28日  
第3種郵便物認可  
…  
《定期購読料》  
1部・22回  
手渡し - 3000円  
開封郵送 - 3500円  
密封郵送 - 4000円



## 全金

## 東京本大会で否決す

臨時大会の「準備会」参加決定に叛旗

全国・全単産への波及はおしとどめられない

民間労働運動に影響力をもつといわれる全国金属労働組合の第四回臨時大会

が二月十六日、十七日の両日にわたって、東京・全電通会館で開かれた。今大会

は昨年十二月十五、十六日の中委會で「統一準備会」参加派と反対派の攻

針・報告の承認と、春闘方針を決定する重要な場であつた。

大会は「統一準備会」参加

案が賛成四十、反対十五、

保留七で賛成派が六五%を占めたのに対し、五九%に

成百三十八(五九・七四%)、

反対七十五(三一・四七%)、

保留十八、棄権十六の賛成

多数で「準備会」参加を決定

した。

金ではこの結果が示す

よう、非常に激しい「準

備会」参加派と反対派の攻

防がくりひろげられてき

た。

今大会での特徴は、昨十二

月の中央委員会で執行部原

針を決定する重要な場であ

つた。

大会は「統一準備会」参加

案が賛成四十、反対十五、

保留七で賛成派が六五%を

占めたのに対し、五九%に

賛成四十、反対十五、

保留七で賛成派が六五%を

占めたの





3.28

三里塚

全国結集へ!

# 政府・公団の反対同盟解体攻撃粉碎!

## 「二期・話し合い」と闘う労農連帯を

### 批判は団結のために

昨年十二月二十五日、運

輸

審議官服部経治

航空局長松井和治、空港公

用地課代理前田伸夫が、

二期用地内天神峰部落の小

川嘉吉、小川喜平両氏宅を

訪れ、追いかえされた事件

に端を発して、反対同盟は

政府・運輸省・公団による

今回の「話し合い」攻撃の解

明と、その粉碎の闘いをお

しすすめてきた。

反対同盟の事態解明の闘

いのなかで、昨年八月三十

一日と十月二十三日、石橋

副委員長・内田行動隊長ら

と運輸省・公団との秘密会

談が明らかとなつた。とり

わけ、十月二十三日の秘密

会談には、先の服部・松井、

前田にくわえ三年前の「話

し合い」攻撃のさい暗躍し

た元官房副長官加藤紘一、

高知空港用地買収の手配師

西村明が参加したことが明

らかとなつた。ここに敵

の今回の攻撃にかける重層

敵の強権発動にたいして実

力闘争をもつて闘ひぬき、

三里塚闘争の厳格さと非和

解性の強さ、それゆえの三

五年の結成以來、反

対同盟は強制測量、第一次

と第二次の強制執行と、

敵の強権発動にたいして実

力闘争をもつて闘ひぬき、

三里塚闘争の厳格さと非和

解性の強さ、それゆえの三

五年の結成以來、反

対同盟は強制測量、第一次

と第二次の強制執行と、

敵の強権発動にたいして実

力闘争をもつて闘ひぬき、

三里塚闘争の厳格さと非和

解性の強さ、それゆえの三

五年の結成以来、反

対同盟は強制測量、第一次







# 80年代戦略をめざして

## 社会党「中間報告」批判

本書は、「社会タイムス」の水原輝雄氏を中心とされたもので、社会党の西欧型社会民主主義化をめざす、いわゆる「道」見直しの「中間報告」を批判したものである。本書から学ぶべきこと、また批判すべきことは多々あるが、ここでは権力問題に限定して批評してみたい。

本書は、「社会タイムス」の水原輝雄氏を中心とされたもので、社会党の西欧型社会民主主義化をめざす、いわゆる「道」見直しの「中間報告」を批判したものである。本書から学ぶべきこと、また批判すべきことは多々あるが、ここでは権力問題に限定して批評してみたい。

&lt;/

